

R3 ル・ソラリオン西新井 事業計画書

1. 施設理念

- ・「主役はいつも利用者の皆様です」の考えを基本に利用者の人格及び意思を尊重し、今までの生活が継続できるよう支援します。
- ・地域、家庭との結びつきを大切にし、信頼される施設作りを目指します。

2. 施設方針・テーマ

- ・必要な時に必要なケアを提供し、その人らしい生活が継続できるよう支援します。
 - ・職員一人一人が気づきを大切にし、ケアの向上に取り組みます。
 - ・地域に愛され、地域に信頼される施設作りを目指します。
- 『地域のなかで、暖かく思いやりのある支援を提供します。』

3. 実施事業

- | | |
|----------------|-------------------|
| (1) 介護老人福祉施設 | 定員 150名 (個室ユニット型) |
| (2) 短期入所生活介護 | 定員 30名 (個室ユニット型) |
| (3) 認知症対応型通所介護 | 定員 12名/日 |
| (4) 居宅介護支援事業 | |

4. 重点目標

抱負・目標

- ①利用者が生活に満足し楽しみや喜びを感じ、その人らしく生活できる為に「生きがい」の視点を基に生活環境の充実に取り組む。
- ②「地域において必要とされ、信頼される施設」を目指し、施設が持つ機能を活用して地域への公益活動を実施する。
- ③安心、安全で専門性の高い良質なサービスを提供するため、「知識」「技術」「実践力」を身につけた人間力のある「人」づくりに取り組む。
- ④働きがいのある施設、働く人に優しい施設作りに取り組む。

(1) 人財育成と職場定着

◆専門能力のレベルアップと職員育成

- ・科学的介護情報システム (LIFE) の利活用を進め、質の評価やデータ活用を行いながら、科学的に効果が裏付けられた質の高いサービスの提供を目指す。
- ・不適切ケアについての改善の取り組みを行い、虐待防止の意識の向上、人権に配慮した接遇などの取り組みを行う。また、プライバシー保護についての取り組みを行う。
- ・リモートによる研修など新たな研修方法により、法人本部、東京施設と連携し、新規採用職員の研修体制を整備し研修の確実な実施を行う。また、経験と職域に合わせた研修への参加を促進することにより、個々の職員に求めるスキルのレベルアップを図り、

職員の定着、利用者サービスの向上に資する。

- ・リーダーの教育訓練プログラムを通じて中堅職員の育成を計画的に実施する。
- ・将来の介護職育成のため、外国人留学生の受入を行い、生活環境の支援を行いながら資格取得・自施設での就労に向けた取組を行う。

◆「思いやりのある」「働きがい」のある職場環境への改善

- ・知識、技術、実践力ある職員の育成、強化に取り組む。
- ・東京地区人事担当者とともに、東京地区、足立区の介護人材の動向を確認し人材の確保を行うとともに、職員が辞めない組織づくりに取り組む。
- ・職員の業務負担の軽減に取り組む。
- ・ICT技術や介護ロボット等の導入検討を積極的に進め、介護業務の負担軽減に資する。

(2) 利用者へのサービス提供（顧客満足・質の向上）

◆個別ケアの充実

「暖かく、思いやりのある支援を提供する」

- ・リハビリ、栄養、口腔の一体的な取り組みによる適切な食事環境の提供や利用者ひとりひとりに合わせた排泄や入浴等のケアを行うことで、自立支援や重度化予防につなげ利用者が安心して暮らせる生活を提供する。
- ・褥瘡管理の取組を継続し、発生予防や状態改善について評価を行う事で褥瘡管理を強化する。
- ・利用者の趣味・嗜好を反映したレクリエーションやクラブ活動を提供するとともに、外出する機会や地域住民と交流できる機会を設け楽しみや生きがいを感じられる生活が出来るように支援していく。

(3) リスク対策（感染・安全・災害）

- ・新型コロナ感染症への対策を、法人本部、東京地区各施設との連携により実施し、「持ち込まない、持ち込ませない、利用者を守る」の方針により行っていく。
- ・施設の経営課題を把握して施設事業計画を作成し、ISO9001等を通じて提供するサービスの質の継続的改善を行う。
- ・事故ヒヤリハット報告レベル3事故の発生に至る経緯の分析を行い、事故発生を10件/年以内とする。（最終目標はあくまでゼロ件）
- ・水害、地震など大規模災害に対する初動体制、その後の事業継続計画（BCP）について課題を明らかにし、地域防災計画に基づいた見直しを行い、研修などによる内容の周知と実践的訓練を行う。
- ・職員の地域防災の意識を高め、施設機能を活用した地域への災害支援に取り組む。

(4) 施設・設備整備

◆安心・安全で快適な施設内外の環境整備を行う

- ・安心、安全、清潔で快適な住環境の提供のため建物、設備、備品の保守管理を行い、

経年に伴う整備が迅速に対応出来るよう体制を整える。法令遵守し、新たに必要となった改修や修理などの実施により設備の保全に努める。

- ・災害発生時の事業継続に必要な整備を行っていく。

(5) 地域連携・社会貢献

- ・新型コロナウイルス感染症の地域流行状況と感染防止政策の動向を把握し、地域の方々とともに感染防止対策に取り組む。

◆地域との連携を維持・強化する

- ・地域に愛される取組により獲得した繋がりや信頼を、利用者サービスや稼働に活かせるよう取組を行う。
- ・地域における福祉ニーズの把握を行い、施設機能を活用した地域活動に取り組む。
- ・地域の活動に主体的に参加するとともに、住民の地域での孤立化を防ぎ、社会参加促進をはかる取組みを行う。

◆地域福祉の拠点としての活動の実施と情報発信をする

- ・多世代との交流をすすめ保育所、学校、自治会、民生委員、地域包括支援センターと連携し共生社会の実現に取り組む。
- ・地域住民が参加し交流できる地域交流事業の実施
- ・地域福祉関係機関との連携による介護、福祉に関する情報発信

(6) 経営管理

◆実施する事業の経営安定

- ・各事業の利用者数目標及び予算の達成の為に、毎月の数値を分析して対策を検討して取り組む。

特養 95.3% (143名/日)、ショート 66.7% (20名/日)

デイ 75% (9名/日)、居宅 100% (70名/月)

◆東京地区施設の連携強化

- ・施設連携会議、ISO各部会等を通じて課題を把握し対応策を実践する。

5. 新規事業

なし